

<https://keitaro-ohno.com>

ForumK

衆議院議員

大野敬太郎

発行者:自民党香川県第三選挙区支部
 観音寺事務所
 〒768-0022 香川県観音寺市本大町1797-2
 TEL:0875-23-1231 FAX:0875-25-9539
 e-mail: kanonji@keitaro-ohno.com

丸亀事務所
 〒763-0082 香川県丸亀市土器町東1-129-2
 TEL:0877-21-7711 FAX:0877-21-7701
 e-mail: marugame@keitaro-ohno.com

東京事務所
 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
 衆議院第一議員会館1211号
 TEL:03-3508-7132 FAX:03-3502-5870

地元香川県の地域行事で

団結して経済好循環を！

かつて日本は、経済一流・政治三流と言われたが、欧米諸国の混乱もあって、国際政治現場での日本のリーダーシップに対する期待が高まっているのは事実だ。しかし一方で、経済力で言えば、将来価値を生むイノベーション力の低下は著しい。未来への投資が少ないうえ、人手不足が原因なのか。社会保障制度の問題か。処方箋を示し断行すべき立法府に問題はないのか。

■国会改革は必須だ

国会は、平成も終わるのに、まだ昭和感が漂っている。国会の質は、議論とその結果の質で判断されるべきだ。法案に反対なら中身で議論すべきなのに、国会会期という時間切れを狙った質疑が目立つ。やり方を変えなければならぬ。国会質疑の裏側で大勢の役所の職員が半ば徹夜で作業をしていることや、閣僚を国会に縛り付け本来業務の遂行に支障がでること、改善すべきだ（防衛大臣が典型例）。改革をすべき点はまだまだ多い。

■日本は世界をリードする時だ

歴史を振り返るまでもなく自由貿易は国際秩序にとって極めて重要だ。逆に秩序が保たれて初めて真の経済活動が進む。この好循環を生むため、日本が自由貿易の旗手として世界をリードしていくべきだ。国際世論を形成できる立場になれば、個別的な外交課題も戦略的脅威という意味では全く変わっていない。韓国は重要な隣国だが、昨今、日本に対する一方的な強硬姿勢が目立つ。中国との政治関係は好転しているが、国際社会からは借金漬け外交など戦略的野心の疑いの目が向けられている。ロシアとの北方領土を巡る議論にも終止符を打つべき時が迫っている。EUや中東も重要だ。

■将来価値を生む仕組みが必要だ

未来の価値創造には研究開発とイノベーションが必要だ。企業の業績は総じて好調だが、未来への投資を促す施策が必要だ。現在の研究開発イノベーション投資の政府目標は、政府がGDP比1%、民間3%だが、到達していない。日本は社会保障費にかなりの力を注いできたが、未来への投資を行わなければ、未来の社会保障も安定しない。また、研究開発成果を社会実装していく必要がある。そのため、議員立法で、大学や研究開発法人が、その成果を生かしてベンチャーを生み育てる仕組みを強化した。これからベンチャーを含め日本のあらゆる産業が、標準化や知的財産戦略など、世界に伍していくための仕組みも作らねばならない。また産業構造も各社が研究・開発・販売・経営など全部自社で行う自前主義・垂直統合型から協業分業のオープンイノベーション型に変質すべきで、後押し強化は必須だ。特にIoTやAIなどを念頭にグローバルな規模で富を生み分配する仕組みが必要だ。

■雇用市場の改善が必要だ

いい大学出て、有名な大手の会社に入り、終生そこで働く。このモデルはもう過去のもののだろう。先のオープンイノベーションの主旨からも、雇用や就業の在り方は本質的に変わらざるを得ない。アベノミクス金融政策の本質は雇用の改善だが、これだけ労働市場がタイトになっても賃金が思ったほど上昇しないのは、雇用のミスマッチが主要因だ。労働市場の流動性を高めるべく雇用規制の改善が必要だ。また、入国管理法が改正され、外国人労働者の受け入れが限定拡大されたが、世界から見れば日本の労働市場の魅力は低下傾向にある。そもそも魅力を生む必要がある。全ての産業で生産性を高める施策を断行し、また多様な働き方が可能となるよう雇用規制を見直す必要がある。また、六十歳を超えても働きたいと考える人が八割を超える現在、働ける人には働ける環境を整えるのが政治の役割だ。雇用保障としての定年を引き上げるべきでは

ないが企業の定年引き上げを促す仕組みは必要だ。退職の自由は当然だが、年金受給開始の上限も国の財政収支を変えることなく広げて、働き方の選択を広げるべきだ。

■社会保障制度には自尊心を

年金制度が破たんすると思っている人が存外多い。財政的には安定している。長期的には実質の給付水準は若干低下する見込みだが払い込み保険料よりは当然遥かに多い。将来の若者支援のための新たな仕組みの議論も始めている。より問題なのは、医療介護の分野だ。生活保護も雇用保険もそうだが、社会保障制度の原点は保険だ。が、社会保障制度の原点は保険だ。須らく給付すれば制度は成り立たない。だとすれば、貰わなくては損だと思われる制度を改善し、貰わなければ得だ、と思われ、それが自尊心に繋がる制度が望ましい。例えば、一度も保険を使わなければメリットがあるとか、保険を使わない努力、地域の行事に努力すれば参加して健康創りに努力すれば

大野敬太郎 profile



大野敬太郎 WEB
<http://keitaro-ohno.com/>

《略歴》昭和43年11月1日生まれ。さる年さそり座O型。丸亀在住・本籍豊浜。座右の銘は先憂後楽。好きな作家は塩野七生と司馬遼太郎。坂出附属中(ブラバン)・丸亀高校(テニス・器械体操)・東京工大卒・同大学院修士修了、後に東京大学博士号取得。富士通研究所、米カリフォルニア大学バークレー校客員フェロー、東京大学産学官連携研究員、大臣秘書官、議員秘書などを経て自民党衆議院議員候補者公募に応募。自民党香川3区支部長就任。2012年の第46回総選挙にて初当選。現在当選3回。

《現在》党外交部会長代理など。衆議院では安全保障委員会に所属。

《これまで》政府では防衛大臣政務官など。党では安全保障・外交・財務金融・産業・科学技術イノベーション・知的財産・宇宙・航空・農業・社会的事業など多くの政策立案に従事。議員連盟では、人口減少対策・農村基盤整備議連ため池小委員会・和の住まい議連・保険議連、証券議連、サービサー議連等の事務局を、また議員外交は、フランス・イスラエル・ヨルダンなどの議員連盟の事務局を務める。



ドゥテルテ大統領を海上自衛隊護衛艦「かが」に迎えての防衛協力に関する艦内会談



菅義偉官房長官を囲んでの自衛隊高級幹部会合



記者会見の様子

■憲法改正に向けた議論の加速
 現行憲法は人口減少や国際政治
 官民の兼業連携も一部解禁してい
 く必要がある。
 野は工次第で持続可能な具体的
 制度設計は可能だ。
 ■官民二元論を排し新価値創造を
 社会的課題は本来行政が解決す
 べきだが、すべてに手が届く訳で
 はない。民間でも果敢に事業化に
 チャレンジし成功している例が多
 くなってきた。いわゆる社会的事
 業だ。地方創生は日本経済再生の
 柱の一つであるが、その地方には
 こうした社会課題が多い。シャッ
 ター街、農産品六次産業化、健康
 創りなどがそう。民間投資を呼
 び込み官民が手を取り合って、透
 明かつ健全で経営管理の行き届い
 た事業を推進すべきだ。それには、
 ソーシャルインパクトボンドなど
 も含め、従来のような補助金制度
 ではない、新しい仕組みが必要だ。
 官民の兼業連携も一部解禁してい
 く必要がある。

環境の変化を前提と
 はしていない。当然
 改正していくべき
 だ。現在、自衛隊明
 記・教育・緊急事態・
 選挙区合区の4つが
 主要なテーマになっ
 ているが、人口減少
 社会に対応した改正
 も必要だ。改正はあ
 る。立法府は発議を
 するだけだ。ただし、
 間違っただけとはい
 えない。憲法を変え
 ただけでバラ色の国
 が成立するわけでは
 ない。憲法を土台に
 真つた議論を重ね
 て実効力のある施策
 を打ち出していくか
 ければならない。ま
 だまだ時間はかか
 る。



詫間町で海の家地元談義



琴平町で農家とBBQ 地元談義



三豊市での人工知能×高専Prj



イノベーションに関する議員立法



宇宙・サイバー・電磁波に関する関係機関との意見交換(左から JAXA・米宇宙軍・E-2C 搭乗・電子装備研究所)



国交省との地元インフラ談義 丸亀本島での国政報告会



小野寺大臣を囲んで丸亀支部研修会



エコノミスト吉崎達彦先生と経済談義



金融専門家と金融談義

共に汗を流した職員に見送りを受けての離任行事

河野太郎外務大臣と外交意見交換

大野敬太郎の活動に是非ご協力ください！

ポスター・後援会新聞・運営資金 などでガッツリとサポートしたい！

- ・ポスター掲示や新聞配布等につき、地域でお世話頂ける方を募集中です。
- ・ForumK の正規会員を下記の通り随時募集中です(入会申込書有り)。
 - 法人特別会員 一口月1万円
 - 法人会員 一口年5万円
 - 個人会員 一口年1万円
- ・ご協力賜れば誠に幸甚です。宜しくお願いします。詳しくはWEB か事務所に一報下さい。スタッフがご相談に上がります。

政治や経済などに関する勉強会に 参加しつつスマートにサポートしたい！

- ・西讃地域は太宝会、中讃地域は大志会として、地域や日本のあるべき姿をご来場いただいた皆様と共に議論する会です。奮ってご入会ご参加ください。
- ・開催:年2回(基本7月と11月)
- ・懇親会付きの勉強会
- ・年会費1万円
- ・現在100人前後が参加(会員数約500)
- ・事務所までご連絡いただければ入会申込書をお届けします。

大野敬太郎 WEB
<http://keitaro-ohno.com/>



facebook

イベント情報や政治動向、大野の視点を タイムリーに知リスパッとサポートしたい！

- ・時事問題や政治動向を大野独自の視点でいち早く不定期で皆様にメールニュースとしてお届けしております。入退会は自由で、もちろん無料です。ご関心のある方は是非お試し下さい。
- ・お申し込みは、ご氏名(必須)、ご住所、会社名、メールアドレス(必須)を添えて、「メールニュース希望」と題して下記のアドレスまでメールにて一報ください。
marugame@keitaro-ohno.com